

一般社団法人 日本照明工業会

技術資料 126-2008

誘導灯器具及び避難誘導システム用装置試験細則
Specification of luminaires for escape lighting and equipments for escape systems
 — Methods and procedure for approval test

改正追補

附属書 3

点滅形避難口誘導灯器具用LED光源点滅装置：点滅光特性試験補足

1. **適用範囲** この附属書は JIL5502 に追加された**附属書 7**(点滅形避難口誘導灯器具用LED光源点滅装置)の点滅光特性試験について規定する。
2. **点滅光特性**
測定方法は次による。
 - a) ピーク光度は実効光度測定装置を用いて行う。詳細は **1)**による。
ただし、光度とLED光源に流す電流との相関が提示できる場合は、波形解析装置(オシロスコープ、デジタルメモリーレコーダ、スペクトルアナライザ、周波数カウンタ等 (以下 波形解析装置という。))と照度計を用いて行っても良い。詳細は **2)** による。
 - 1) 実効光度測定装置
 - ① 直流電源を点滅装置の蓄電池端子に接続する。
 - ② 器具の前面から原則 1m の位置に実効光度測定装置の受光部を設置する。
(1m とするのは照度 = 光度とするため。)
 - ③ 点滅装置に放電基準電圧を印加して点滅動作を開始し、実効光度測定装置に表示されるピーク照度値を読み取る。
 - 2) 波形解析装置と照度計を用いて測定する方法
 - ① 光源を連続点灯させ、照度計の出力電圧をオシロスコープで測定し、照度計の測定値と出力電圧の相関を求める。
 - ② 器具の前面から原則1mの位置に照度計を設置する。(1mとするのは照度 = 光度とするため。)
 - ③ 点滅装置に放電基準電圧を印加して点滅動作を開始し、オシロスコープでピーク電圧を測定し、光度値に換算する。
 - b) LED 閃光の時間幅は実効光度測定装置又は波形解析装置を用いて行う。

一般社団法人 日本照明工業会 技術資料 126
 「誘導灯器具及び避難誘導システム用装置試験細則」
 制 定：1994年 3月 24日
 改 正：2008年 12月 9日
 改正追補：2018年 3月 13日
 審議機関：JEA 誘導灯認定委員会 (委員長 石井 弘允)
 立案機関：誘導灯基準作成小委員会 (主査 小出 晋司)

発行日 2018年 3月 19日
 発 行 一般社団法人 日本照明工業会
 東京都台東区台東4-11-4
 (三井住友銀行御徒町ビル 8F)
 電話 (03) 6803-0501
禁 無断複写、転載